【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【公開番号】特開2016-171590(P2016-171590A)
【公開日】平成28年9月23日(2016.9.23)
【年通号数】公開・登録公報2016-056
【出願番号】特願2016-103202(P2016-103202)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/222　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　21/266　(2011.01)
Ｈ０４Ｎ　21/854　(2011.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/222　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　21/266
Ｈ０４Ｎ　21/854

【手続補正書】
【提出日】平成29年4月3日(2017.4.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遠隔映像・音声制作のためのシステムであって、
映像制作のための制御室（１１）に関連する第１の部分（１）と、記録予定のイベントの現場（２１）における第２の部分（２）とを備え、
前記第１及び第２の部分（１，２）がデータストリームによって互いに通信し、
前記データストリームが広域ネットワーク（３）を通じて前記第１及び第２の部分（１，２）間で送信されるように適合されており、
信号経路（３１）が前記第１及び第２の部分（１，２）間に前記広域ネットワーク（３）を介して確立され、
前記信号経路（３１）が、少なくとも第１及び第２の信号経路（３１１，３１２）を備え、
前記第１の信号経路（３１１）が、映像及び音声信号を含む実時間データである１次データ（３１１’）を伝送するように適合され、
前記第１の信号経路（３１１）が、実時間データの伝送が要求されるサービス品質を提供するように適合されており、
前記第２の信号経路（３１２）が、２次データ（３１２’）を伝送するように適合され、２次データ（３１２’）がより低いサービス品質を許容することができ、
前記第１の信号経路（３１１）が、要求される場合には前記第１及び第２の部分（１，２）間で双方向通信するように適合され、
前記第２の信号経路（３１２）が、前記第１及び第２の部分（１，２）間で双方向通信するように適合され、
前記制御室（１１）における第１のクルー（１２）のメンバー（１２ａ，１２ｂ）と前記現場（２１）における第２のクルー（２２）のメンバー（２２ａ，２２ｂ）との間の音声通信に関連するデータは、該通信の実時間要求に応じて前記１次データ（３１１’）又は前記２次データ（３１２’）であり、

前記２次データ（３１２’）が、前記２次データ（３１２’）が、前記制御室（１１）内の任意のカメラ遠隔制御パネル（１４）と前記現場（２１）における任意のカメラ制御ユニット（２５）との間の制御データとして、前記現場（２１）における遠隔カメラ（２４）を前記制御室（１１）から制御可能な遠隔カメラ制御データを含み、
前記２次データ（３１２’）が、前記現場（２１）における遠隔音声機器（２７）を前記制御室（１１）から制御可能な遠隔音声制御データを含み、
前記２次データ（３１２’）が、前記制御室（１１）から送信され前記現場（２１）における機器のエラー管理及びエラー制御用のデータを含み、
前記第１の部分（１）が第１の通信マトリクス（１３）を備え、
前記第１の通信マトリクス（１３）では、第１の入力接続部（１３１ｉ）及び第１の出力接続部（１３１ｏ）は前記第１のクルー（１２）のメンバー（１２ａ，１２ｂ）専用であり、
前記第１の通信マトリクス（１３）が、前記制御室（１１）における前記第１のクルー（１２）のメンバー（１２ａ，１２ｂ）間の任意の必要な通信を、前記第１の入力及び出力接続部（１３１ｉ，１３１ｏ）を介して可能とするように適合されており、
前記第２の部分（２）が第２の通信マトリクス（２３）を備え、
前記第２の通信マトリクス（２３）では、第２の入力接続部（２３２ｉ）及び第２の出力接続部（２３２ｏ）は前記第２のクルー（２２）のメンバー（２２ａ，２２ｂ）専用であり、
前記第２の通信マトリクス（２３）が、前記第２のクルー（２２）のメンバー（２２ａ，２２ｂ）間に任意の必要な通信を前記第２の入力及び出力接続部（２３２ｉ，２３２ｏ）を介して可能とするように適合されており、
前記第１の通信マトリクス（１３）では、第３の入力接続部（１３３ｉ）及び第３の出力接続部（１３３ｏ）は、あたかも前記第２のクルー（２２）のメンバー（２２ａ，２２ｂ）が前記制御室（１１）にいるかのように、前記第２のクルー（２２）の前記メンバー（２２ａ，２２ｂ）専用であり、
前記第２の通信マトリクス（２３）では、第４の入力接続部（２３４ｉ）及び第４の出力接続部（２３４ｏ）は、あたかも前記第１のクルー（１２）のメンバー（１２ａ，１２ｂ）が前記現場（２１）にいるかのように、前記第１のクルー（１２）の前記メンバー（１２ａ，１２ｂ）専用であり、
前記第３の出力接続部（１３３ｏ）からの発信データは前記第４の入力接続部（２３４ｉ）に通信され、
前記第４の出力接続部（２３４ｏ）からの発信データは前記第３の入力接続部（１３３ｉ）に通信され、
前記１次又は２次データ（３１１’，３１２’）は、通信の実時間要求に応じて、前記第３及び第４の入力接続部（１３３ｉ，２３４ｉ）への入力データと、前記第３及び第４の出力接続部（１３３ｏ，２３４ｏ）からの出力データとを含み、
前記２次データ（３１２’）が、前記制御室（１１）から送信され前記第２の通信マトリクス（２３）を設定、管理及び制御するために必要とされる制御データ（Ｃｔｒｌ２３）を含み、
前記第２の通信マトリクス（２３）が、前記第１の通信マトリクス（１３）の論理的ミラーとして構成及び管理されることを特徴とするシステム。
【請求項２】
前記第２の信号経路（３１２）が、異なるサービス品質をそれぞれ提供するいくつかの異なる信号経路に分割され、機器の遠隔制御及びクルーメンバー間の音声通信を含む実時間アプリケーションに関連するデータが、エラー管理及び通信マトリクスの管理を含む非実時間アプリケーションに関連するデータよりも高いサービス品質を有する信号経路を介して通信されるように適合されていることを特徴とする請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
少なくとも前記第１の信号経路（３１１）が、光ファイバ通信によって実現されること

を特徴とする請求項１又は２に記載のシステム。
【請求項４】
前記第２の信号経路（３１２）が、光ファイバ通信によって実現されることを特徴とする請求項３に記載のシステム。
【請求項５】
前記第２の部分（２ａ，２ｂ，…，２ｎ）が、記録予定のイベントに頻繁に使用される現場（２１ａ，２１ｂ，…，２１ｎ）に配置された固定部であることを特徴とする請求項１～４のいずれか一項に記載のシステム。
【請求項６】
前記第２の部分（２ｘ）が、記録予定のイベントに使用される現場（２１ｘ）へ移動可能な移動部であることを特徴とする請求項１～４のいずれか一項に記載のシステム。
【請求項７】
前記第１の部分（１）が、２つ以上の第２の部分（２ａ，２ｂ，…，２ｎ，２ｘ）と同時に通信するように適合されていることを特徴とする請求項１～６のいずれか一項に記載のシステム。